

# 令和8年度学校自己評価システムシート (県立新座高等学校)

目指す学校像	一人一人の自立を重んじ、主体的に社会に貢献できる人材を育む学校
--------	---------------------------------

重点目標	変化が激しい社会を生き抜くために、社会人として自立し、主体的に社会に貢献できる生徒を育成する 1 社会人スキルとしての基礎学力を身につけ、すべての生徒が生涯にわたり学ぶ喜びを実感する 《基礎学力の向上》 2 一人一人の生徒に徹底的に寄り添い支援・指導し、自立を促し、自己実現の醸成を図る 《自己実現の醸成》 3 外部機関と共に連携し、社会貢献意識の醸成を図り、チームとしての学校力の向上を果たす《開かれた学校づくり》
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成
1	(現状) 観点別評価による指導と評価の一体化を推進するとともに、ICT機器の活用により学習の支援や教員の負担軽減に取り組んでいる。少人数授業や外部人材の活用等により、生徒個々への支援体制の充実もはかっている。しかし遅刻・欠席数が多く、各学期の成績優良者数及び成績不振者数の改善が見られていない。 (課題) 遅刻・欠席数の減少と成績優良者数及び成績不振者数の改善。SC・SSWの活用による生徒支援体制の強化。	○観点別評価をより効果的に活用し生徒個々の基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上を図る。  ○少人数授業やICT活用、SC・SSWとの連携等、生徒個々に対するきめ細かい支援を行う。	①観点別評価の検証と見直しを行い、生徒の実態に則した指導と評価の在り方を検討するとともに、教員の授業力向上に組織で取り組む。  ②定期考査前の勉強会や各種検定試験への取組を通して学習習慣の定着を図るとともに、遅刻・欠席数の減少をはかる具体的取組を進める。  ③生徒個々に対するきめ細かい支援体制を整え、SC及びSSWと連携し教育相談的視点での生徒の育成を行う。	①教育課程委員会を中心とする観点別評価の検証及び検討の取組と、授業研究会を中心とする協働的・探究的な学びの推進の取組。 ②成績優良者数及び不振者数の推移。検定試験等への取組。 ③遅刻・欠席数の推移や挨拶の励行状況及びSC・SSWの活用状況。 ④各種面談の実施状況やアンケート等の調査結果。		
2	(現状) SC・SSW、学習サポーター、日本語支援員、通級支援員等、外部人材の計画的な活用によりきめ細かな生徒支援を行っている。総合的な探究の時間ではSST(ソシヤル・スキル・トレーニング)を計画的に実施した。 (課題) 予算に対する外部人材の活用率の更なる向上と、総合的な探究の時間における組織的なSSTの取組。	○計画的な外部人材の活用による生徒支援の充実。  ○SSTの取組を3年間を見通した計画のもとで実施し、生徒の自立と自己実現を段階的に醸成する取組を行う。  ○学校行事等における生徒の様々な活動を通して、生徒個々の主体性の伸長や社会性の養成を行う。	①総合的な探究の時間を柱に各学年の目標に沿った取組を行い、自分自身を振り返る機会を設定し、多様な進路実現に繋げる。  ②学習サポーター等による積極的な学習支援を行う。  ③通級支援による個別指導を必要としている生徒への対応を実施する。  ④部活動や生徒会活動及び学校行事等を通じた体験活動の推進を図る。	①進路ガイダンス等の実施状況及び総合的な探究の時間における生徒の取組状況とキャリア教育指導の状況。  ②学習サポーターや支援員等の活用状況。  ③通級支援員による個別指導等の活用状況。  ④部活動加入状況や各種体験活動の内容と取組状況。		
3	(現状) 小中学校等との連携事業や文化祭の一般公開、生徒募集に係る広報、ホームページ更新や保護者へのメール配信等、広く広報活動を行っているが、志願倍率は低迷している。 (課題) 地域連携の充実とホームページ更新頻度の向上、生徒募集に係る中学校への広報活動の精選と工夫改善。	○PTA・後援会だけでなく地域機関との連携を積極的に進め、地域に開かれた学校づくりを進める。  ○ホームページによる情報発信や学校説明会等を積極的にを行い、外部の本校教育活動への理解度を高める。	①小中学校など近隣機関との連携事業や各種行事を通して、生徒会や部活動等を中心に地域連携を推進する。  ②ホームページ更新や学校説明会等、外部への情報発信を積極的にを行うとともに、一斉メール等を活用し保護者への情報発信にも取り組む。	①校外機関と連携した取組の活動状況。講演会等の外部人材の活用状況。  ②ホームページ更新状況や学校説明会等の実施状況、一斉メールの活用状況。		

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日	令 和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	